

【日の出入り・月の出入り表】

2020年 10月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備 考
	時:分	時:分:秒	度	時:分	時:分	時:分		
1	6:15	12:10:45	53.5	18:06	18:08	5:20	13.7	中秋の名月
2	6:16	12:10:26	53.1	18:04	18:35	6:15	14.7	満月 水星が東方最大離角※1
3	6:17	12:10:07	52.7	18:03	19:03	7:09	15.7	
4	6:17	12:09:49	52.3	18:02	19:31	8:03	16.7	
5	6:18	12:09:30	52.0	18:00	20:02	8:58	17.7	
6	6:19	12:09:12	51.6	17:59	20:36	9:54	18.7	火星が最接近(-2.6等)
7	6:19	12:08:55	51.2	17:58	21:14	10:51	19.7	
8	6:20	12:08:38	50.8	17:57	21:59	11:47	20.7	寒露(かんろ)※2 10月りゅう座流星群が極大
9	6:21	12:08:22	50.4	17:55	22:49	12:43	21.7	
10	6:22	12:08:05	50.1	17:54	23:46	13:36	22.7	下弦 おうし座南流星群が極大
11	6:22	12:07:50	49.7	17:53	--:--	14:25	23.7	木星が東矩※3
12	6:23	12:07:35	49.3	17:52	0:48	15:10	24.7	
13	6:24	12:07:20	48.9	17:50	1:54	15:51	25.7	
14	6:25	12:07:06	48.6	17:49	3:03	16:29	26.7	火星が衝※4
15	6:25	12:06:53	48.2	17:48	4:12	17:05	27.7	
16	6:26	12:06:40	47.8	17:47	5:23	17:41	28.7	
17	6:27	12:06:28	47.4	17:46	6:35	18:18	0.3	新月
18	6:28	12:06:16	47.1	17:44	7:47	18:57	1.3	土星が東矩※3
19	6:29	12:06:05	46.7	17:43	9:00	19:40	2.3	
20	6:29	12:05:54	46.4	17:42	10:12	20:29	3.3	秋土用※5
21	6:30	12:05:45	46.0	17:41	11:20	21:22	4.3	オリオン座流星群が極大
22	6:31	12:05:35	45.7	17:40	12:21	22:21	5.3	
23	6:32	12:05:27	45.3	17:39	13:15	23:21	6.3	上弦 霜降(そうこう)※6
24	6:33	12:05:19	45.0	17:38	14:01	--:--	7.3	
25	6:33	12:05:12	44.6	17:37	14:40	0:22	8.3	
26	6:34	12:05:05	44.3	17:36	15:14	1:21	9.3	
27	6:35	12:05:00	43.9	17:35	15:45	2:19	10.3	
28	6:36	12:04:55	43.6	17:34	16:13	3:15	11.3	
29	6:37	12:04:51	43.3	17:33	16:39	4:10	12.3	後の月(栗名月)
30	6:38	12:04:47	42.9	17:32	17:06	5:04	13.3	
31	6:38	12:04:44	42.6	17:31	17:34	5:58	14.3	満月(ブルームーン)

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※2 二十四節季の一つ 意味:秋が深まり、野草に冷たい露がむすぶ。

※3 火星・木星・土星などの外惑星が、地球から見て太陽と直角方向にある時を「矩(く)」といいます。西矩(せいく)の頃は明け方、東矩(とうく)の頃は夕方に外惑星が南中します。(矩は「さしがね」の意味です)

※4 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※5 土用:四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。

